



1/2
1138 企情

各 位

2021年8月27日
SMK株式会社
広報室長 古田尚之

SMK とイスラエル EchoCare 社、電波式見守りシステムで浴室内の事故を低減へ

SMK 株式会社（代表取締役社長 池田 靖光、以下 SMK という）は、資本業務提携先であるイスラエルのEchoCare Technologies Ltd.（代表者 Rafi Zack 、以下エコケア社という）が開発した「電波式見守りシステム」により、浴室内の課題解決を実現しました。

SMKは2021年10月より「電波式見守りシステム」の量産試作品の販売を開始し、2022年春からの量産開始を目指します。

<浴室内の課題>

国内では年間約19,000人（*1）の浴室での死亡事故が発生していますが、転倒や水没等の危険な状態を検知する製品・サービスはまだ、世に広く普及しておりません。

また、浴室ではプライバシーへの配慮が必要であり、カメラを使ったシステムは使用できません。

一方、電波センサーを使用したシステムは、浴室特有の環境（鉄板に囲まれた狭い室内、シャワーや水面のゆれ等）に大きな影響を受けるため、高い精度の検知を行う事は、技術的に非常に困難となっております。

<電波式見守りシステムの特徴>

SMKとエコケア社は、中部電力（株）や集合住宅管理を行う日本総合住生活（株）、ユニットバスメーカー、高齢者施設運営会社等との実証実験を繰り返し実施し、様々な浴室のサイズ、シャワー、水面の揺れの影響等をノイズとして学習させることで、浴室での位置、姿勢、転倒や水没などの検知率を90%（*2）まで高めることに成功しました。

UWB（*3）電波を利用した高齢者見守りシステムは、画像認識が不要のため高齢者のプライバシーを保護し、ひとつの装置で約40㎡（*4）の範囲をカバーできるユニークなシステムです。



<電波式見守りシステムにより実現可能な機能>

位置、姿勢、転倒、浴槽での溺水、呼吸状態を自動的に検出することにより、緊急事態や異常状態のアラート発報を可能とします。また、人の日常活動を監視し、活動状況や歩行状況等のデータをクラウドに集積することにより、健康状態の変化や認知症の予測等への活用に期待ができます。

SMKとエコケア社は、浴室環境での特徴を活かした量産前の試作品リリースにより、一般住宅や高齢者施設、病院等でさらなる実証実験を進め、2022年春の量産開始と5年間で50億円以上の売り上げを目指します。

- (*1) 2016年1月20日消費者庁調べ
- (*2) SMK実験環境での精度結果
- (*3) UWB=Ultra Wide Band
- (*4) 見通しの良いエリアにおける範囲

<デモ動画のご紹介>

実際の環境下での使用例につきましては、下記URLよりデモ動画をご覧ください。

- 1) 居室 https://youtu.be/KWPi_1iOr6k
- 2) 浴室 <https://youtu.be/R9J8YcmYKV0>
- 3) 介護施設・病院 https://youtu.be/5e-0Q2_8-7A

<ウェビナー開催のご案内>

エコケア社 CEO ラフィー・ザック氏によるウェビナーを開催します。詳細は下記URLよりご覧ください。

日時：9月9日（木）16:00～17:00

<https://www.smk.co.jp/news/event/2021/webinar0909/>

<参考>

SMK とエコケア社は 2019 年 5 月に UWB 方式の電波を利用した日本市場向け見守りシステムの製造・販売のための資本業務提携契約を締結しました。

<EchoCare Technologies（エコケア・テクノロジーズ）社について>

2015 年設立。イスラエルを拠点とし、高齢者介護用家庭見守り（Elderly Care Home Observer：ECHO）システムを開発するスタートアップ。

問い合わせ先：TEL 03-3785-5334 広報室 古田 尚之

以上